媒体資料

www.micejapan.jp



わが国唯一の MICE専門月刊情報誌



《ハード》《ソフト》《人》をネットワークするMICEメディア



「MICE」は、Meeting(企業等の会議)、Incentive (企業の奨励旅行等)、Convention(学会・協会等が開催する会議)、Exhibition(展示会)という、それぞれ異なったビジネス活動の頭文字をつなげた造語です。Meeting、Incentive、Convention、Exhibitionは、いずれも広い地域から人々が目的を持って集うビジネス・コミュニケーションの機会であり、大きな経済効果を生むプラットフォームとして注目されているマーケットです。

『月刊 MICE Japan』の前身となる『月刊 E&C』は、「展示会」の情報誌として1981年に創刊。その後、展示会(E)の方向性もセミナーや講演等のプログラムが必要不可欠なものに変化し、また世界中、全国各地から業界のキーマンが集う国際・国内会議(C)も、さらに魅力的なものとするための「E」と「C」のマッチングをめざしました。

『月刊 MICE Japan』は、『月刊 E&C』がフォーカスした「E」と「C」に、「M」と「I」を加えた情報誌です。新たに韓国とタイに支局を開設したほか、アジアを中心とする世界各国のMICE関連誌と提携を行い、読者企業のビジネス活動の効率化、また関連事業者の皆様のビジネスチャンス拡大を提案する情報誌へと進化しました。

目的を持った人々が集う「M・I・C・E」という4つのビジネス・コミュニケーション機能の効果的な活用を提案する、わが国唯一のビジネス・コミュニケーション専門情報誌が『月刊 MICE Japan』です。同時に、全国展示場連絡協議会の監修を受けるオフィシャル・マガジンの側面も併せ持っています。

『月刊 MICE Japan』メディアデータ

創刊号	2009年10月号(2009年9月10日発行)		
発 行 日	毎月25日	発行部数	20,000部/号(標準)
体 裁	A4判	販売形態	完全契約購読方式

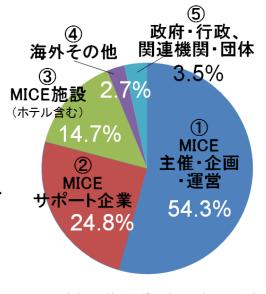
『月刊 MICE Japan』の主な読者層

読者のメインターゲットは、MICEをビジネス発展のために活用していきたいと考える 一般企業です。もちろんMICEに関わるあらゆる事業者の「ビジネス情報誌」として、 またMICEによる地域振興を考える自治体の皆様にも、広くご愛読いただいております。

『月刊 MICE Japan』は MICEビジネスを拡大します

① MICE主催·企画·運営	54.3%
② MICEサポート企業	24.8%
③ MICE施設(ホテル含む)	14.7%
④ 海外、その他	2.7%
⑤ 政府・行政、関連機関・団体	3.5 %
計	100.0%

国内外の最新MICE情報を、ハード・ソフト・ヒューマンの3つの側面から捉える『月刊 MICE Japan』は、読者企業のビジネス課題の解決、地域産業の振興、グローバルな交流促進をサポートする情報誌です。成長・拡大するMICEビジネス・ターゲットにアクセスする『月刊 MICE Japan』は、優れた訴求効果を発揮する、極めて広告価値の高い媒体です。



(読者には特別無償頒布先も含んでいます)

- ◆MICE主催・運営企画(各種産業団体・学会・事務局、 PEO、PCO、MP、企業の広報・営業・総務担当、大学 関係者 他)
- ◆MICE施設(展示会場、会議場、ホテル、旅館、ミー ティング施設、多目的施設、ユニーク施設)
- ◆国土交通省、観光庁、経済産業省等関係省庁、自治体、各種中小企業支援団体、コンベンションビューロー等MICE関連団体、各国政府観光局、海外MICE関連団体
- ◆観光·旅行·宿泊·エンターテイメント

- ◆不動産·都市開発会社
- ◆AVC・情報通信サービス、レンタル、電気・水 道・ガス・エアー等
- ◆人材サービス(運営サポート、ナレーター、ブー スアテンダント、通訳等)
- ◆レストラン・ケータリング
- ◆翻訳・印刷・出版
- ◆ディスプレイ・施工(照明・音響含む)
- ◆警備·清掃/運送·物流
- ◆その他MICE関連事業に関わる企業・団体

広告出稿の3大メリット

より広範な ビジネント、 直接的な ターゲットに PRできます。 2 企業の ビジネス・ コミュニケー ション活動に ダイレクトに 訴求できます。

3 新たな ビジネス パートナーとの マッチングの 機会が 得られます。

MICEビジネスのキーマンにダイレクトに響く、 広告効果の高い媒体

話題のMICEコンテンツを 毎号掲載

『月刊 MICE Japan』は、わが国唯一の MICE情報専門誌として、毎号、精力的な 取材を展開。話題性の高いMICE情報をい ち早くお届けする記事づくりを行っています。





イマ2年、3年日は歴外で開覧される	の保護、つ
† .	具備するセ
参加者は公式登録者が1万人後、	や途上回の
総行者などを含めると全体で2万人現	ワードする
職。世界中から大臣や政済幹部、3	≠- (POS
らに会験関係者、程道関係者、CSO	G24. 12
(Civil Society Organizations: 市民	や2国開会
社会組織) 関係者など多くの関係者	との各国の
が集まる「IMF世委教会」は、世界	に開催され
の関係者たちのより寄な対話やネッ	
トワーキングを実現しようと、期間	— 日本
中に約200の会合やセミナー。レセ	決定したの
プションが同時開催されます。	
このように「IMF電視数会」は参	仲 当初、1
加根棒はもとより、格式の高い多様	タナトでし
なプログラム構成においても、世界	の影響で開

エリア別の イベント開催情報を毎月掲載

会場別に全国のMICE開催スケジュールを毎 号掲載。どのようなMICEイベントが、いつ、ど こで開催されるかが一目で確認できる一覧 表表示のデータ集です。



世界を駆け抜ける MICE Japanパワ-

『月刊 MICE Japan』の取材エリアは全世界 にわたっています。海外のMICE施設、ホテル、 ユニークベニュー等の紹介の他、MICE関連の 大会や会議等も取材し記事掲載しています。





また、中国・韓国のMICE専門誌との記事交 換、世界有力のMICE関係展示会の公式サ ポートメディアとして活躍するなど、世界と広く 繋がっています。

















テレビ東京の「ワールドビジネス サテライト(WBS)」にも登場

テレビ東京の人気番組、ワールドビジネスサ テライトがアジアのMICEをテーマにした特集を 放映しました。その中の「熱風!アジア再開 発 第1弾 MICE争奪戦」で、日本のMICE 専門家として、『月刊 MICE Japan』編集長 の森口巳都留が、シンガポールで行われたマ リーナベイサンズのオープニングレセプションで、 テレビインタビューを受けました。 その中で森口は、「マリーナベイサンズは、



MICEをAll in Oneで行える巨大プロジェクト。 シンガポールに出現したこのようなIRは、日本 にとって脅威になると思う」と発言。日本も官 民挙げてMICEを活性化させていく必要があ ることを強調しました。

広告料金につきましては、 別紙・広告掲載申込書をご覧ください。

ご質問・ご相談などございましたら、 何なりとお問い合わせください。

担当◇佐藤・佐倉・キム・森口



株式会社 MICEジャパン

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋2-6-10プレイアデ神保町302 TEL:03-3261-7817 FAX:03-3261-7818

E-mail:contact@micejapan.jp URL: http://www.micejapan.jp 海外支局:韓国・ソウル、タイ・バンコク